

移動等円滑化取組計画書

2022年6月30日

住 所 福岡市博多区博多駅中央街2-1

事業者名 博多バスターミナル株式会社  
代表取締役社長 吉村 達也

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の4の規定に基づき、次のとおり提出します。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

(1) 旅客施設及び車両等の整備に関する事項

当社バスターミナルは、移動等円滑化基準を満たしているが、視認性向上の為、館内のピクトサイン・バス路線図の改善を実施した。引き続き移動等円滑化整備ガイドラインを踏まえながら、より高い水準のバリアフリーを目指し他施設の状況も参考に適宜施設等改修を行っていきたい。

(2) 旅客支援、情報提供、教育訓練等に関する事項

- ① ターミナル職員の定期的な巡回による声かけやバスへの乗降補助等を行う。
- ② 全職員が、高齢者や障がい者への誘導案内等の人的支援ができるよう、研修を定期的に行う。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
視覚障がい者誘導用ブロック	既設の視覚障がい者誘導用ブロックの改修予定は無いが定期的に点検を実施し、必要ならば補修を行う。

② 旅客施設及び車両等を使用した役務の提供の方法に関し法第八条第二項及び第三項の主務省令で定める基準を遵守するために必要な措置

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
バスターミナルご利用時の介助	切符販売窓口での耳の不自由な方への筆談対応。 お客様の要望に応じ、乗り場への誘導、バス乗降の補助を行う。

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
バス乗降等の介助及び誘導	要望があれば、警備員と連携しバス乗降の介助、館内誘導などの支援を行っており、継続して実施する。

④ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ホームページ等での情報提供	音声ガイドやWEBサイトでの案内を充実させており、現在追加の計画は無いが、必要に応じ更新していく。

⑤ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
接遇研修	年に2回、講師を呼んでのCS向上研修を実施。 全従業員参加し高齢者や障がい者への声かけ接客訓練を行っている。

- ⑥ 高齢者、障害者等が高齢者障害者等用施設等を円滑に利用するために必要となる適正な配慮についての旅客施設及び車両等の利用者に対する広報活動及び啓発活動

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ポスター掲示	多目的トイレの利用方法に関する理解や認識を深めていく為にポスター等で周知、啓発を行っている。

III 移動等円滑化の促進のためIIと併せて講ずべき措置

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HP やお電話で寄せられる利用者からのご意見を参照に施設改善に努める。</li> <li>・ 他の事業者とも利用者への情報提供等について意見交換する。</li> </ul>
---

IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由
	特になし	

V 計画書の公表方法

移動等円滑化取組計画書を自社HPへ掲載
---------------------

VI その他計画に関連する事項

特になし
------

注1 IVには、IIについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Vには、本計画書の公表方法（インターネットの利用等）について記入すること。

3 VIには、IIの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。